

新居浜

13日まで秋葉原で販売会

菓子から日本酒まで集合

新居浜商工会議所 貨店しよくひんかんで（愛媛県）は13日まで、「NIHAMAうま東京・秋葉原の日本百いものMARCH」

を主催している。新居浜市内の菓子店や酒造会社、漬物店など10社が押し商品を出品し、2019年12月14日から1カ月間販売する販売会で同所初の試み。休日と休前日に

人気のスイーツやお酒などが並ぶブース



東京初登場「太陽の白いもプリン」(右)と「抹茶クリームチーズ大福」(左)

は同所職員や事業者が店頭に立って試飲・試食を実施しており、最初の土日には完売する商品も出るなど販売は好調だ。同所は日本商工会議所と日本百貨店の連携事業「地域うまいもんマルシェ」に過去2回出展しているが、今回はそれとは別に日本百貨店から出展を持ち掛けられた。

和菓子店があんと生クリームでつくる生ようかん、愛媛特産の伊予柑の皮のお菓子「いよ柑漬」、県産のかんきつ「紅まどんな」の夕

ルトなど人気スイーツが多数。また、白いもろを原料にした芋焼酎「あんぶん」や県産南高梅を使った「にごり梅酒」、だいたい果汁

を使ったぽん酢、かけしょうゆ、鮮やかな赤色のカブの漬物も販売している。11、13日は同所職員らが店頭でPRする予定だ。